

& and factory

1Q 2021

Financial Results



Something Newを生み出す

日常に&を届ける

というMissionのもと、
常に新しい領域への挑戦を推進し、
人々の生活を豊かにする
サービスを提供してまいります。



& AND COMICS

マンガはクールジャパン文化の1つとして国内外から注目されています。出版社など大手のコンテンツホルダーと二人三脚で、アプリ時代における新たなマンガ文化を築いています。



株式会社 スクウェア・エニックス



株式会社 白泉社



株式会社 集英社



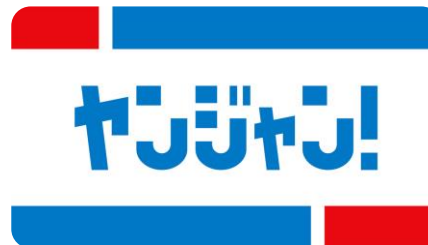
株式会社 ビーグリー



株式会社 小学館



株式会社 日本文芸社



株式会社 集英社



株式会社 アムタス

& AND APPS

FFBE公式サポートアプリの「FFBEデジタルアルティマニア」、相談者にマッチする占いが見つけやすい占いアプリ「uraraca」を開発・配信し、スマートフォンを介して日々のちょっとした息抜きや熱狂的興奮をお届けしています。



FFBE公式サポートアプリ「FFBEデジタルアルティマニア」



占いアプリ「uraraca」

& AND HOSTEL

最先端のIoTデバイスを集結させた近未来の宿泊施設です。部屋自体がエンターテイメント空間であり、IoTデバイスの利用状況を収集・分析するマーケティングプレイスとしても活用しています。





宿泊施設の予約や販売価額、残室数、料金と言った客室に関する情報を一元管理できるシステムです。
初期導入費 0 円、月額利用料 1 部屋 199円からと非常に安価にご利用いただけます。



tabii

客室施設型エンターテインメント配信タブレットサービスです。
宿泊施設の管内案内、周辺の観光地、おすすめレストランなどに宿泊期間に役立つ情報、音楽や演芸などの動画が無料でお楽しみいただけるサービスです。



コスト削減

館内案内やパンフレット、ご案内資料を各客室ごとに配布する紙の資料必要がなくなります。配布の手間だけでなく、印刷コストや刷り直しの作業を削減、客室美化にもつながります。



業務効率化

日頃お客様からよく受ける質問をtabiiに自由に登録できます。館内案内や周辺の飲食店、観光地など全て多言語でご案内出来るので、内線による問い合わせを減らすことが出来ます。



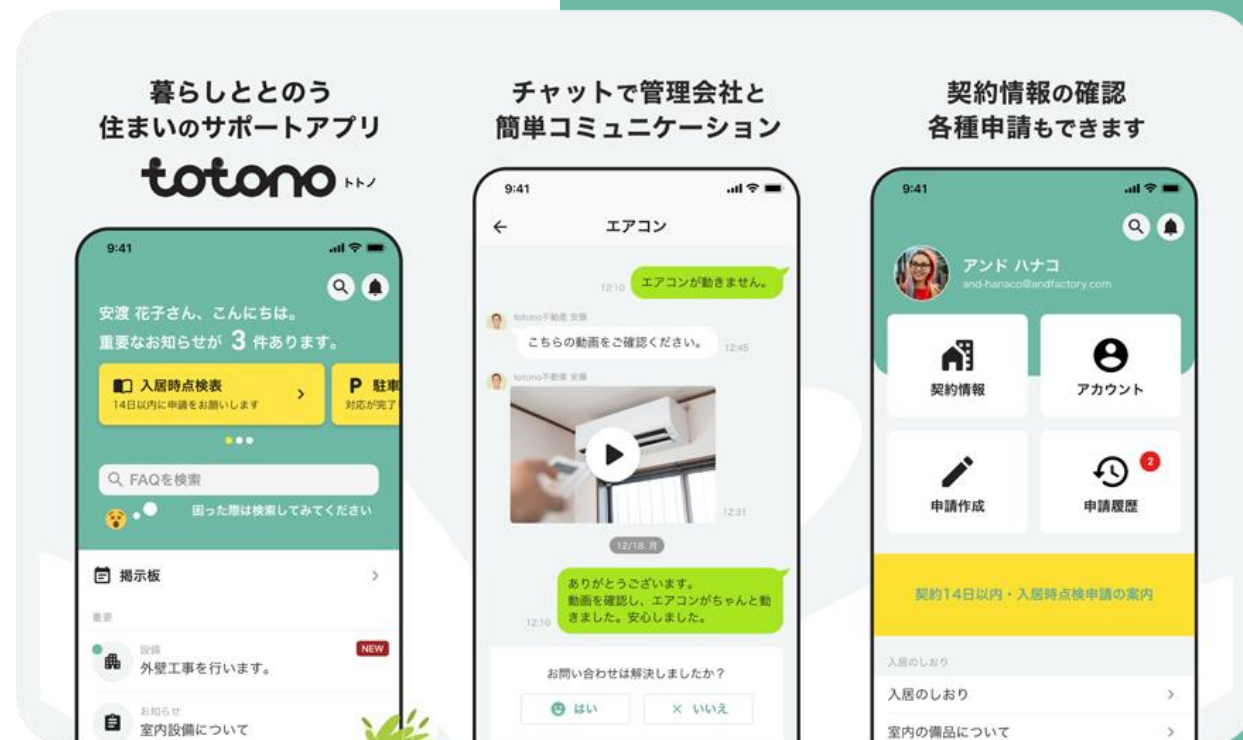
付加価値向上

お部屋での滞在をより楽しく快適に。ちょっとした時間も楽しめるエンタメ動画や多言語ニュース、アクティビティ予約などtabiiがあるからこそ特別な時間を過ごせます。





より便利で快適な暮らしになるアプリで
入居者と管理会社のコミュニケーション
の充実と管理会社の業務効率化を実現し
ていきます。



Index

1. 2021年8月期1Q 業績ハイライト
2. Smartphone APP事業
3. IoT事業
4. 事業方針及び2021年8月期業績予想
5. Appendix



1. 2021年8月期1Q 業績ハイライト



売上高

718百万円
(YoY -10%)

営業利益

-130百万円
(YoY-167百万円)

Smartphone APP事業

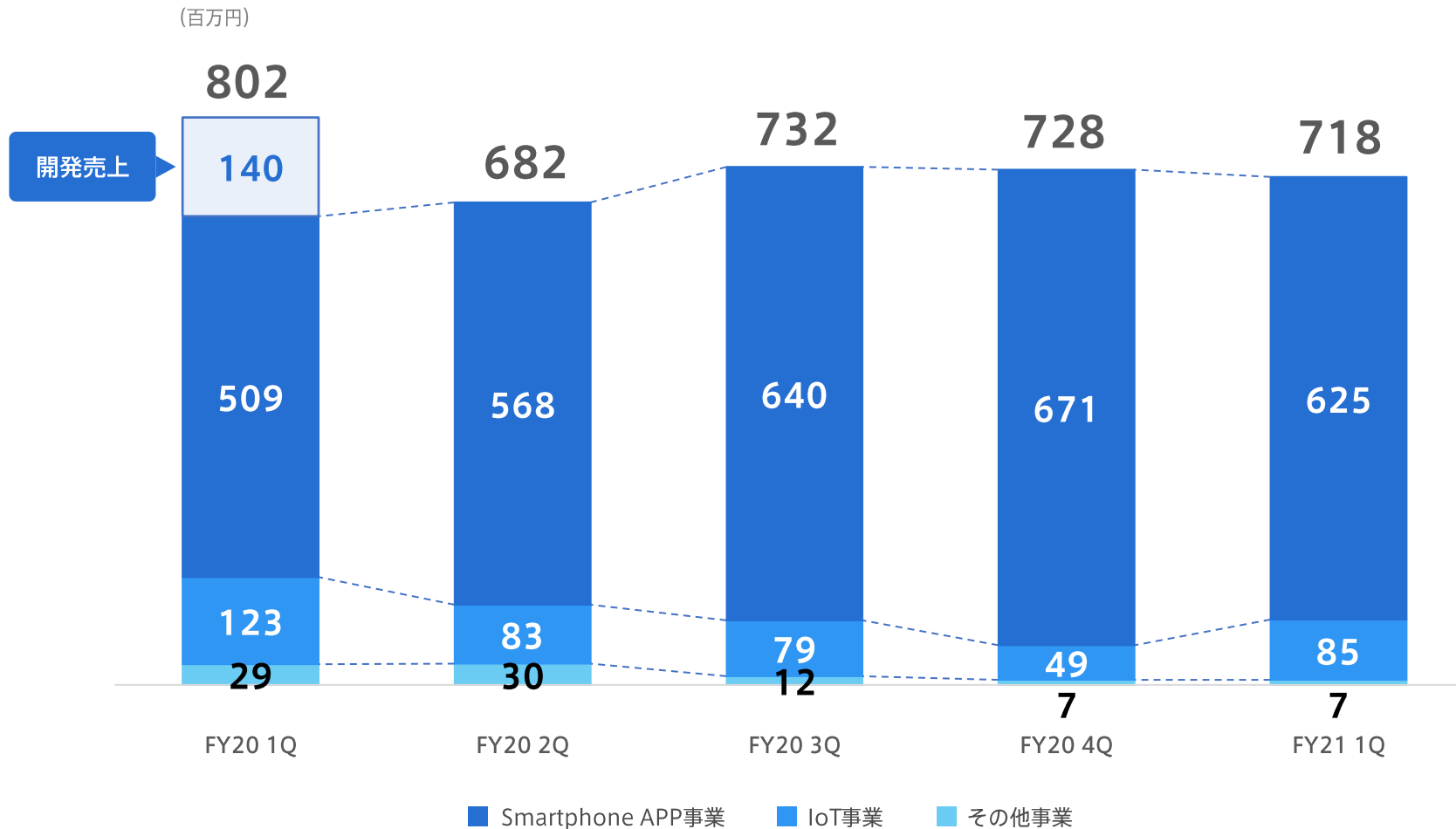
- 前期1Qに計上されたマンガアプリ開発売上を除くベースでは売上高：YoY+8%
- 長期休暇の季節要因により、下期偏重の計画
- 売上高・営業利益ともに期初想定通りの進捗
- 海賊版マンガウェブサイトの台頭がトップラインに対する下押し圧力となっている可能性あり

IoT事業

- ホステル事業ではリモートワーカー向けのビジネス利用促進や長期滞在プラン等が奏功、稼働率は大きく改善
- 顧客単価の改善が引き続き課題
- Go Toキャンペーンの影響は限定的

&。売上高の推移

- 前期1Qに発生していたマンガアプリの開発売上が剥落。当該要因除くベースでは増収を確保
- 1Q（9月 - 11月）は長期休暇がなく、マンガアプリ事業は低進捗だが期初計画に沿った着地
- IoT事業は引き続きCOVID-19の影響を受けるもQoQでは回復

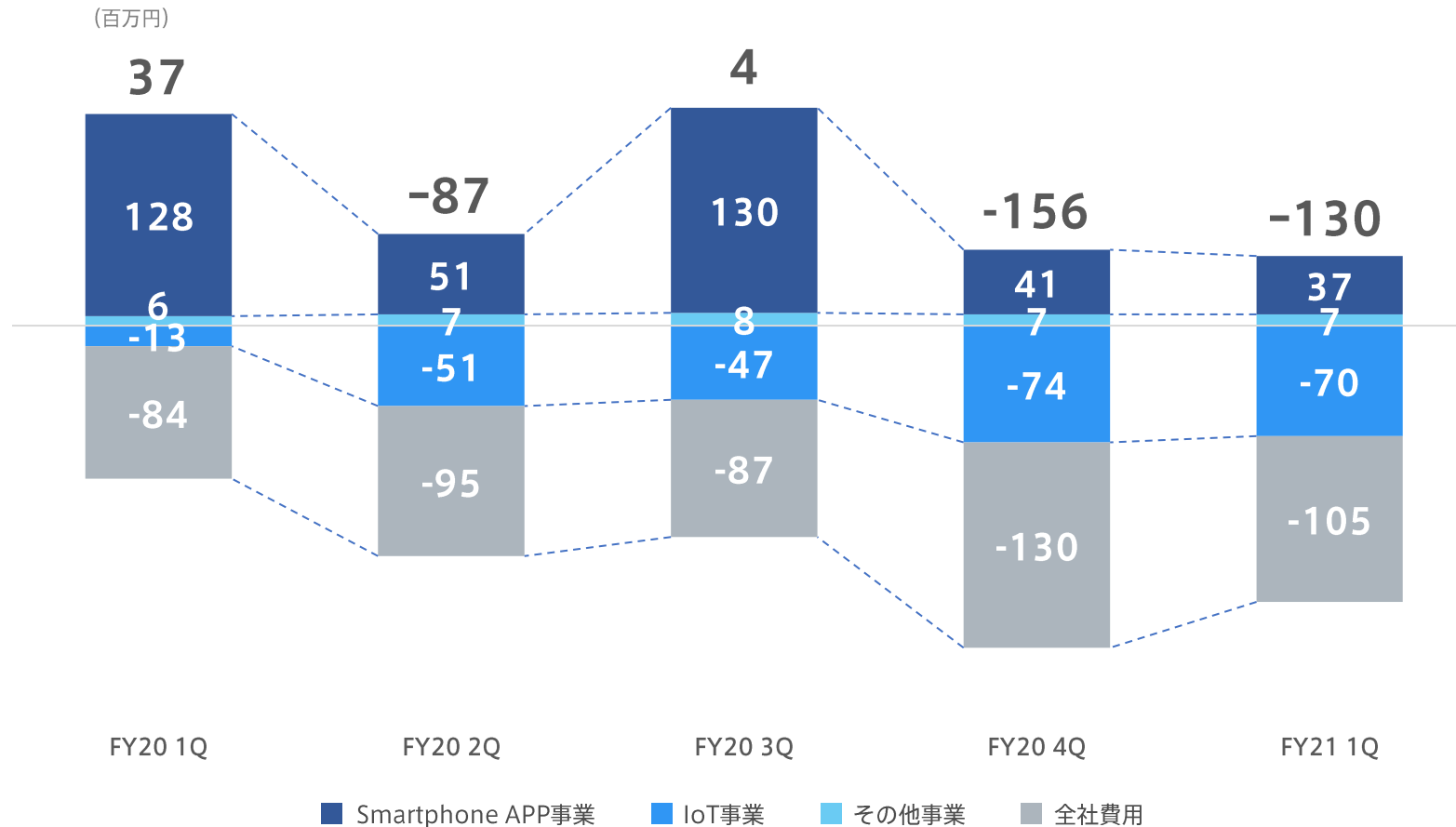


前年比
-10%

前四半期比
-1%

&。営業利益（セグメント利益）の推移

- 概ねQoQで横ばいとなる着地。費用面では株主優待関連費用が剥落
- Smartphone APP事業は引き続き広告宣伝費の積極投下を実施。面取り／事業拡大を継続
- IoT事業は稼働率の回復等により、QoQで若干ながらも赤字幅が縮小
- 下期に向けて利益水準回復を見込み、期初計画通り進捗

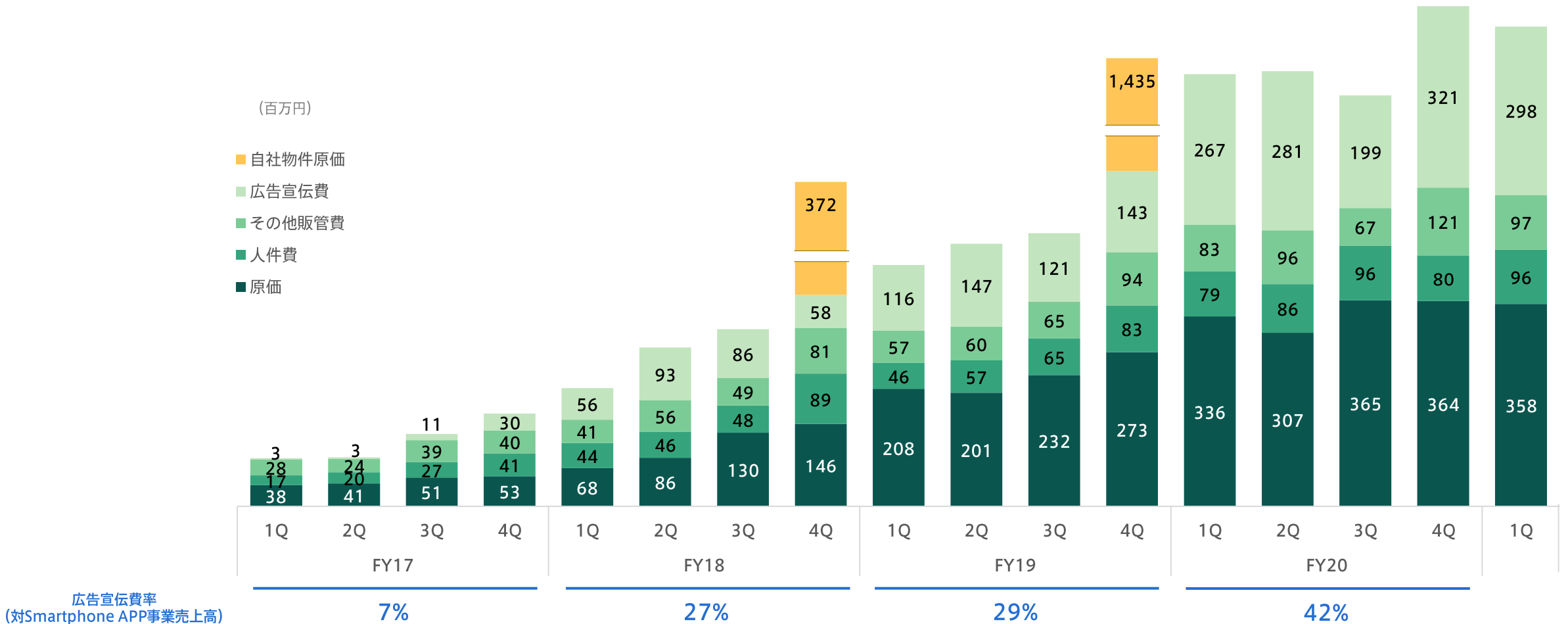


前年比
前年同期は
黒字

前四半期比
+26
百万円

& コスト推移

- 全体として大きなコスト構造に変化はない
- 広告宣伝費はYoYで横ばいだが、広告出稿単価の上昇により獲得効率が短期的に悪化

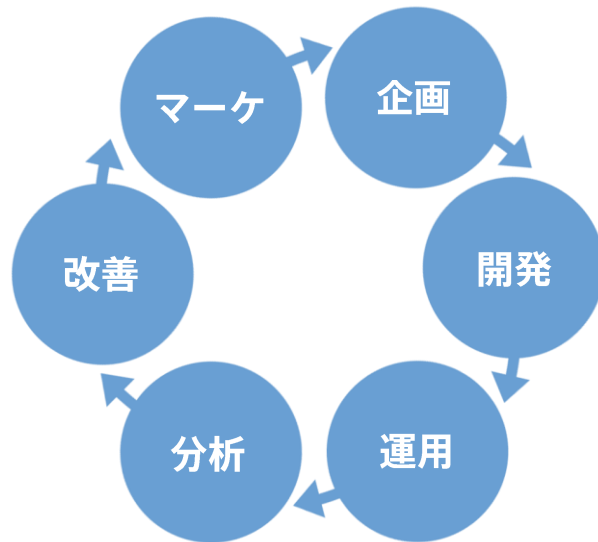


広告宣伝費率
 (対Smartphone APP事業売上高)

2. Smartphone APP事業



運用力での差別化



- アプリ毎にチームを組成
- 企画開発から運用、マーケティングまでワンストップサービスを提供
- アプリグロース体制の確立と圧倒的な実績

コンテンツ力での差別化

SQUARE ENIX.



小学館
SHOGAKUKAN



白泉社
HAKUSENSHA



集英社



日本文芸社
NIPPONBUNGEISHA

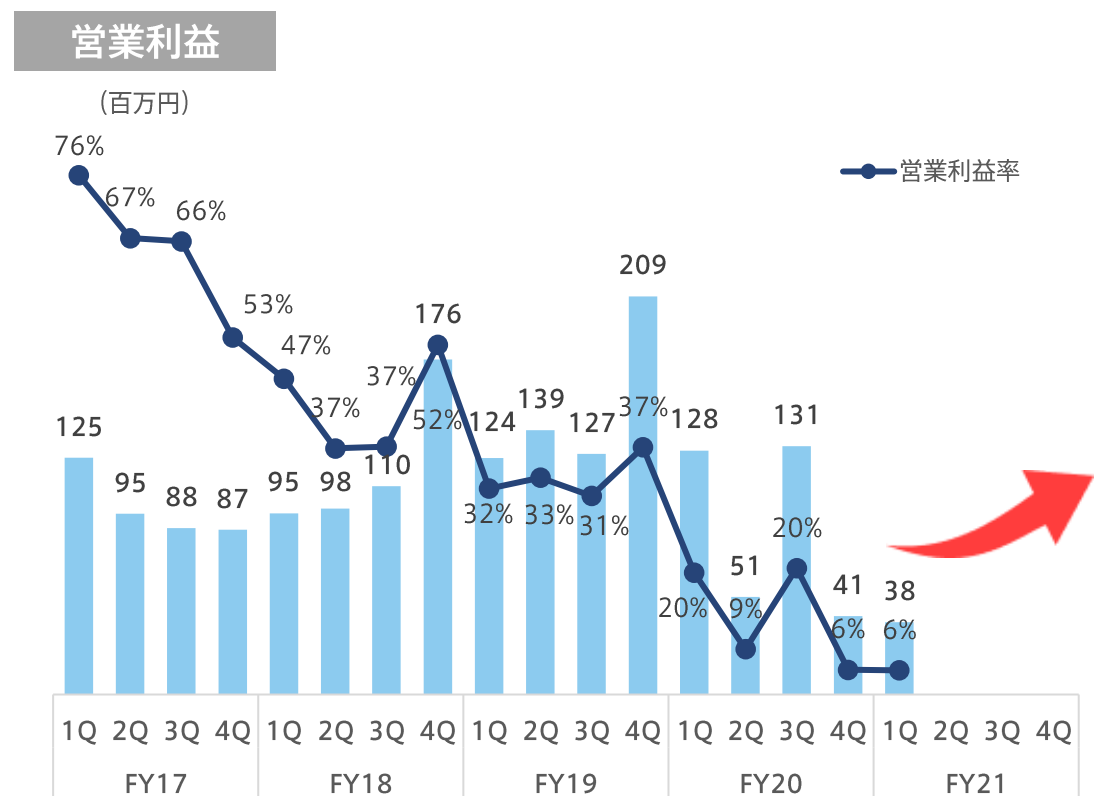
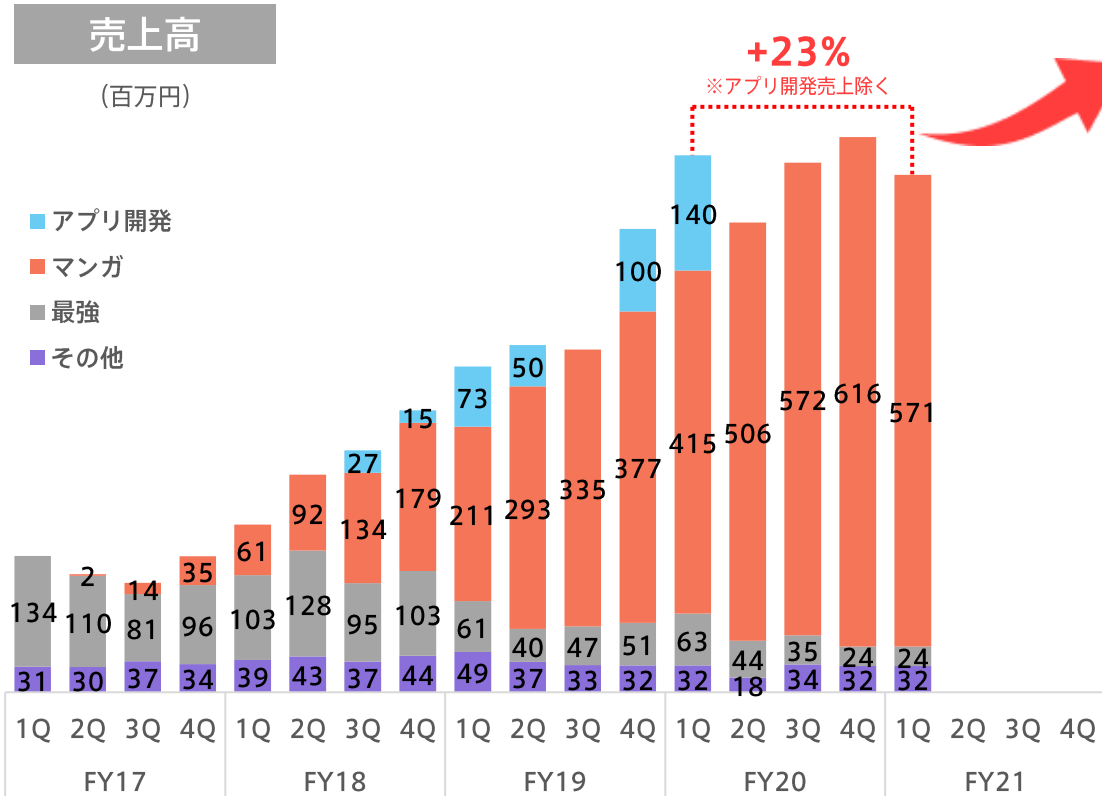


※単行本未収録の他のアプリで読めない作品が読める

- 出版社独自のブランドを確立
- 弊社提供アプリでしか読めない出版社オリジナルタイトルを多数提供

&。売上高/営業利益推移（四半期）

- 一時的な収益である「マンガアプリ開発売上」を除くベースではYoYで堅調に推移（YoY+23%）
- 広告宣伝費は上期に積極投下し、下期は抑制的となる運用計画のため利益は下期偏重
- 前期2Q以降は緊急事態宣言に伴う巣ごもり特需が存在していたが、今期は当該要因が剥落し本来の季節変動に沿った推移となる見込み（2Qは年末年始休暇により需要が拡大する傾向）
- 海賊版マンガウェブサイトの利用者拡大により、既存ユーザーの離脱及び課金収入の減少が一部確認された

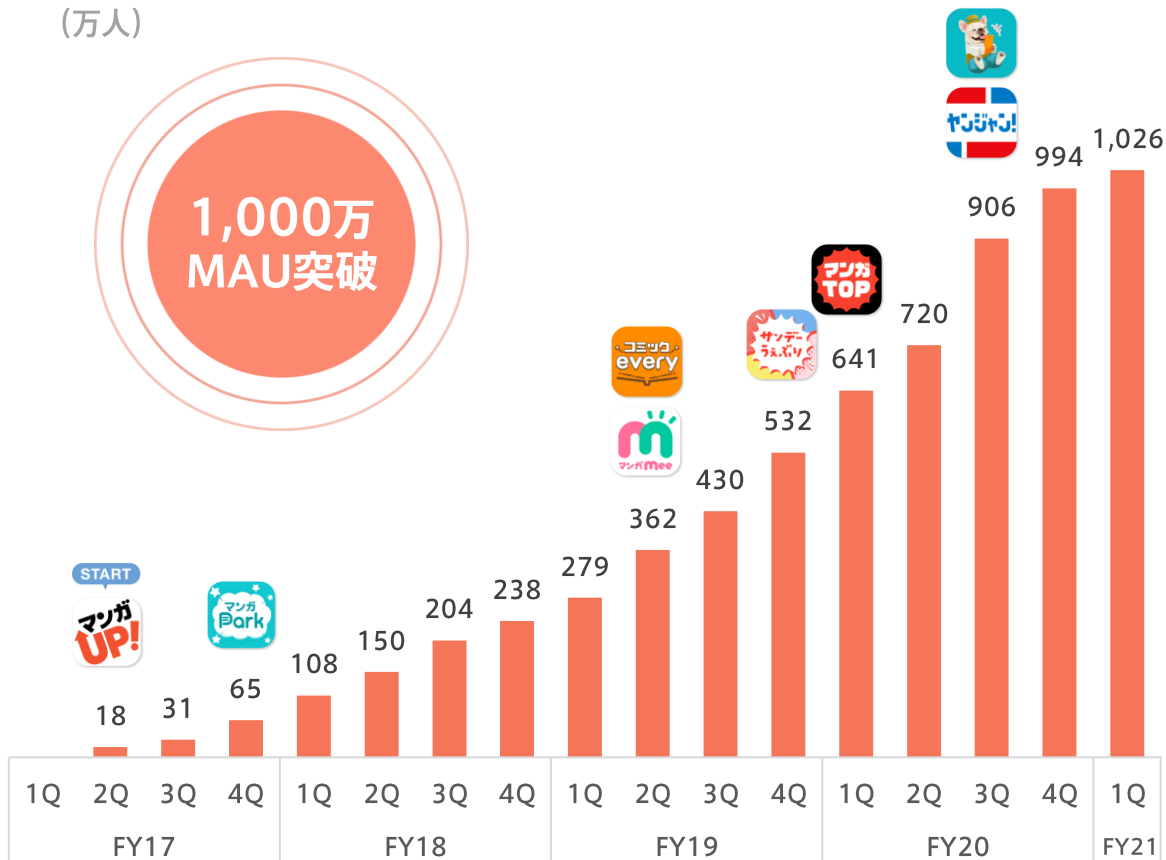


&。マンガアプリKPIの推移

- MAUは1,000万人を超えて堅調に推移
- 広告ARPUは改善傾向にあるが課金ARPUがやや下降したため、1Qは全体で横ばいに推移

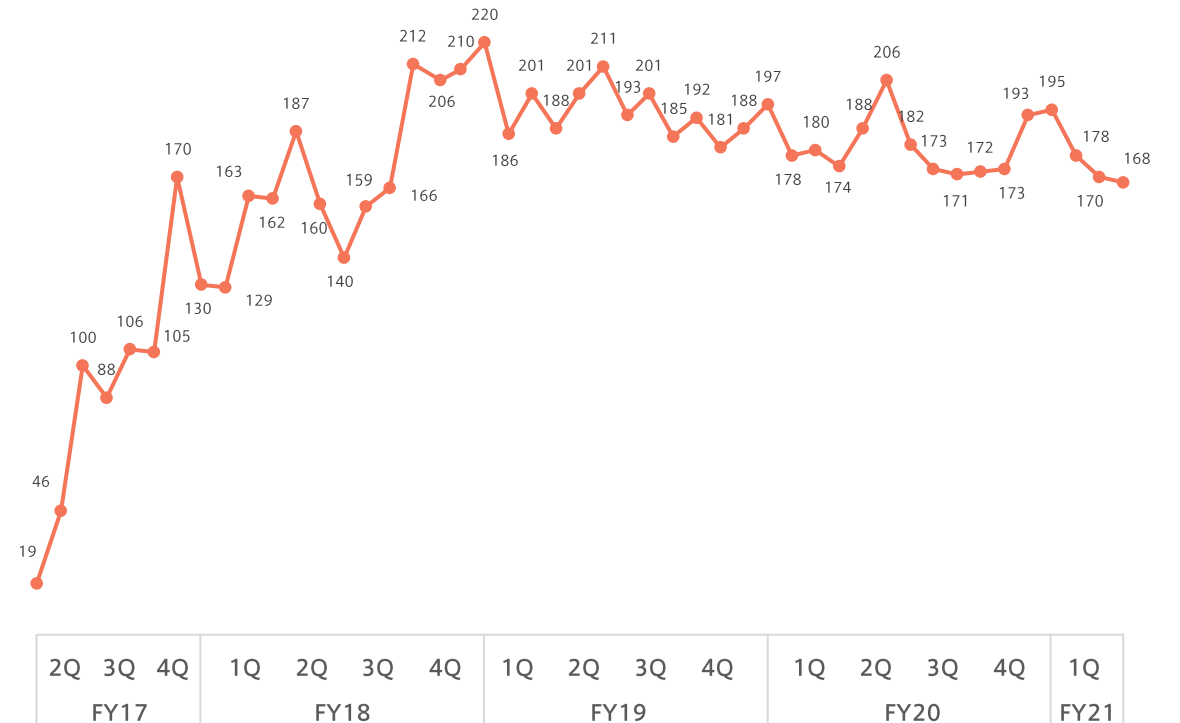
マンガアプリのMAU

(万人)



※マンガアプリのMAUの各四半期における平均値を採用

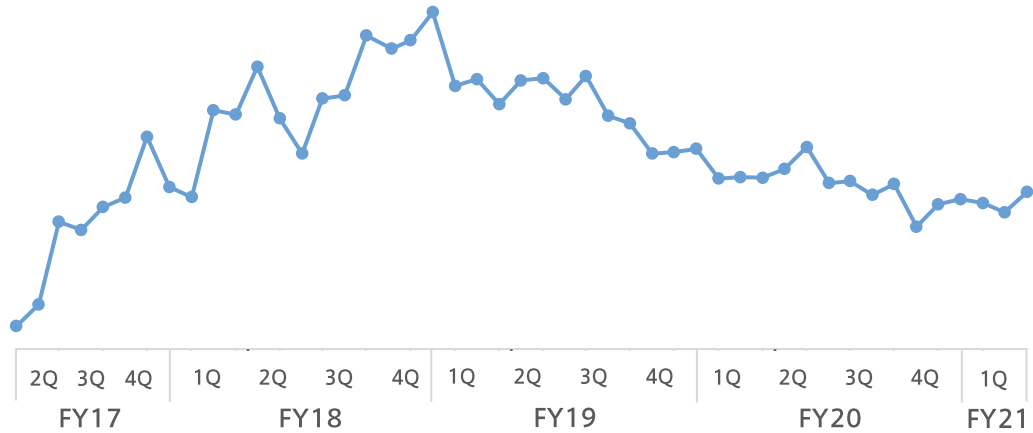
マンガアプリのARPU (指数化)



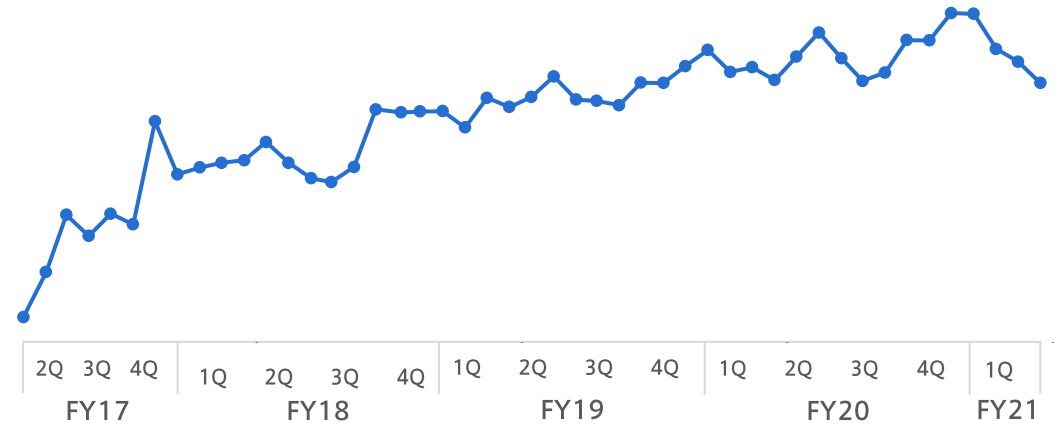
※2017年3月のマンガUP!のARPUを100として指数化。
以降は、新規含む複数アプリのARPUの単純平均値を指数化。

マンガアプリKPIの推移

広告ARPU (指数化)



課金ARPU (指数化)



- 広告ARPUは回復傾向
- 特にリワード広告の単価が上昇
- 特定のアドネットワークを追加したことが奏功

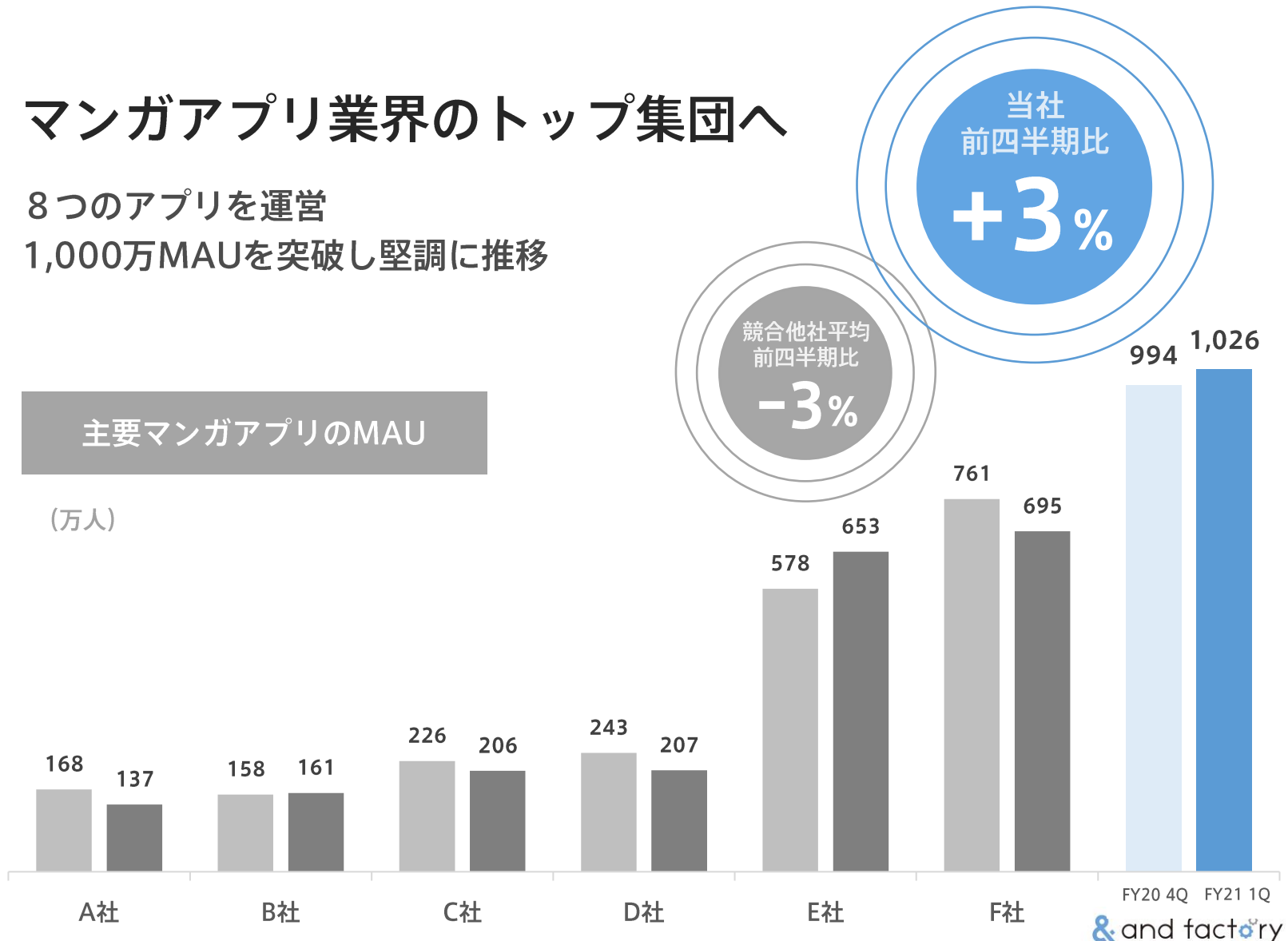
- 前期は巣ごもり需要を背景に2Qから3Qにかけて上昇が見られたが、今期は当該要因が剥落し巡行ペースに
- 一部アプリにおいて短時間の障害が発生し、ポイント還元を実施したことも下方圧力の一要因
- 海賊版マンガウェブサイトの台頭が影響している可能性もあり

マンガアプリ業界のトップ集団へ

8つのアプリを運営
1,000万MAUを突破し堅調に推移

主要マンガアプリのMAU

(万人)



- COMING SOON
- amütüs
- 集英社
- 日本文芸社
- 小学館 SHOGAKUKAN
- Beaglee
- 集英社
- 白泉社 HAKUSENSHA
- SQUARE ENIX.

出所: Nielsen Mobile NetView 2020年8月度、2020年11月度
※and factoryのみ当社集計、四半期平均値を使用

&。新しい収益基盤づくり

- 従来の協業先とのレベニューシェアによるマネタイズだけではなく、新しい収益基盤づくりやM&Aを含む資本戦略の可能性を模索し、中長期的に事業拡大を図る
- 弊社のマンガアプリ開発・運用ノウハウを活かしコンサルティング業務の展開も検討

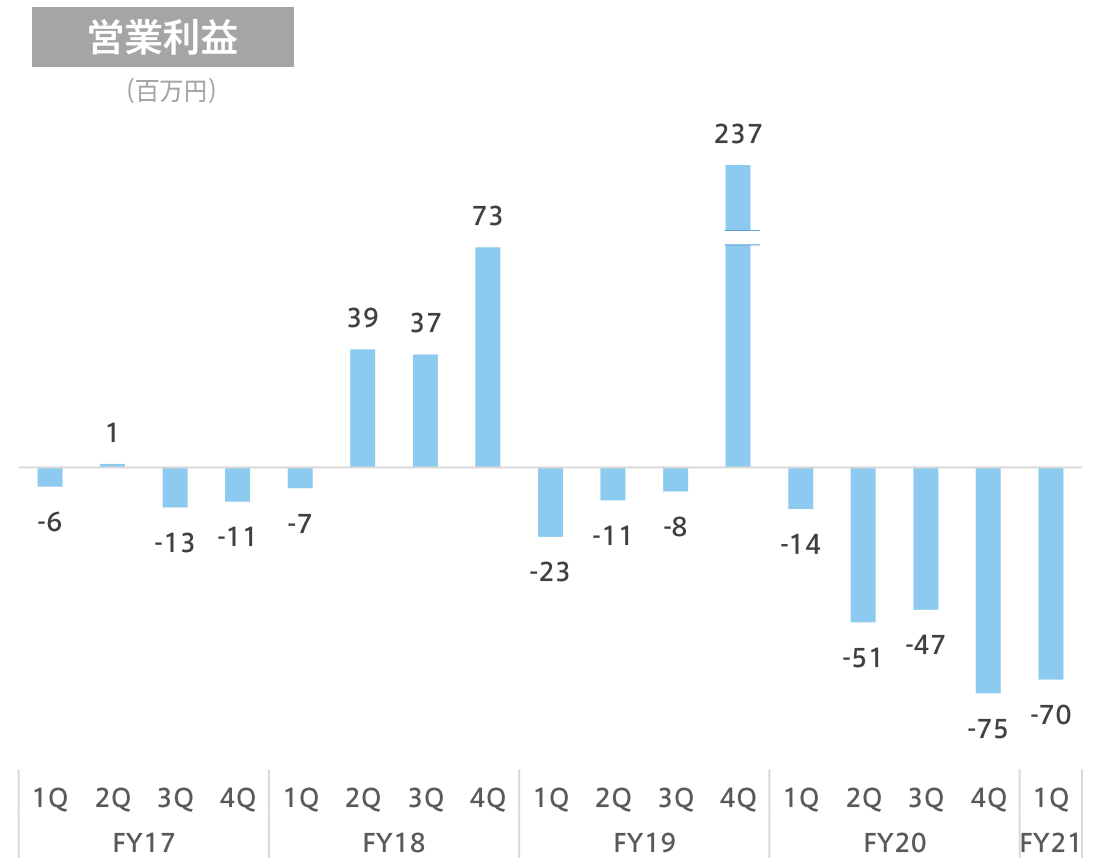
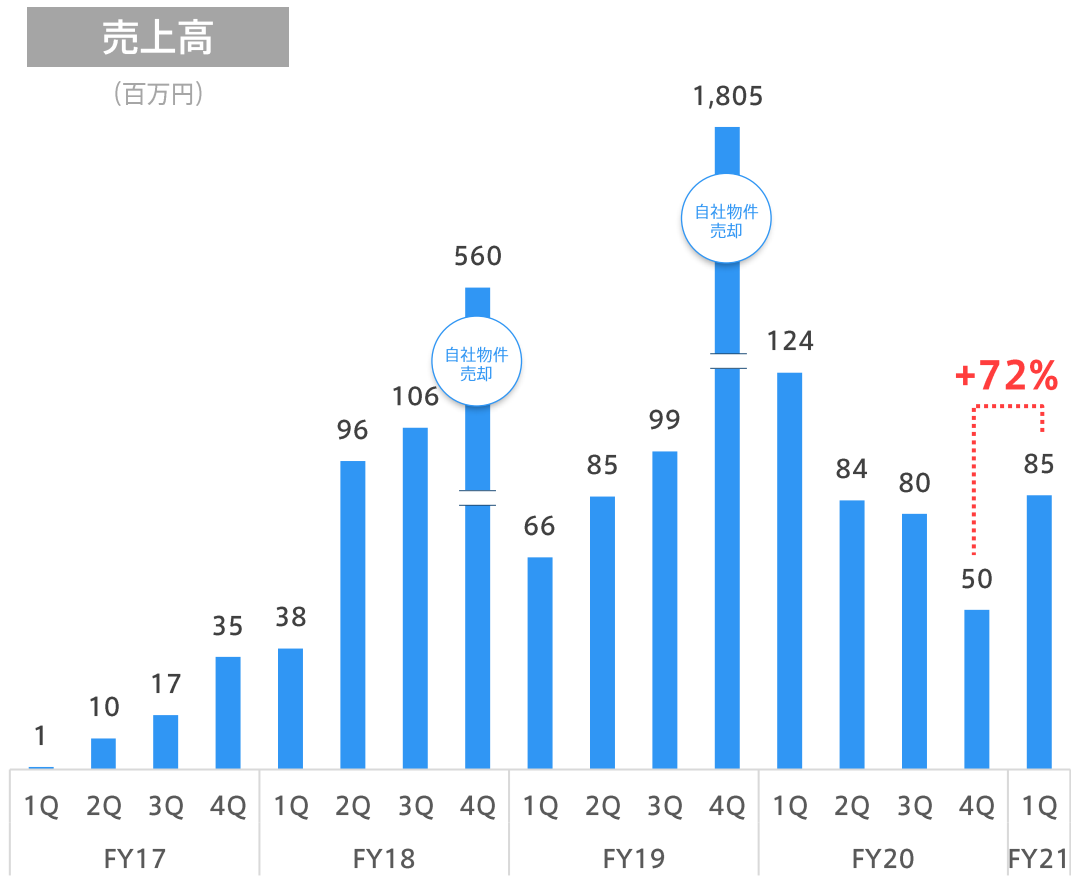


3. IoT事業



&。売上高/営業利益推移（四半期）

- 引き続きCOVID-19の影響は受けているが売上／営業利益は回復傾向
- 売上高はQoQで改善（+72%）、ホステルの稼働率は改善傾向
- 自社開発物件の売却は進捗無し、2Q以降で変動があった場合は速やかに開示予定



**& AND
HOSTEL**

8店舗（開業済み）
（5店舗営業中、3店舗臨時休業中）

innnto

285施設
（前四半期末比+13施設）

tabii

4,933台
（前四半期末比+473台）

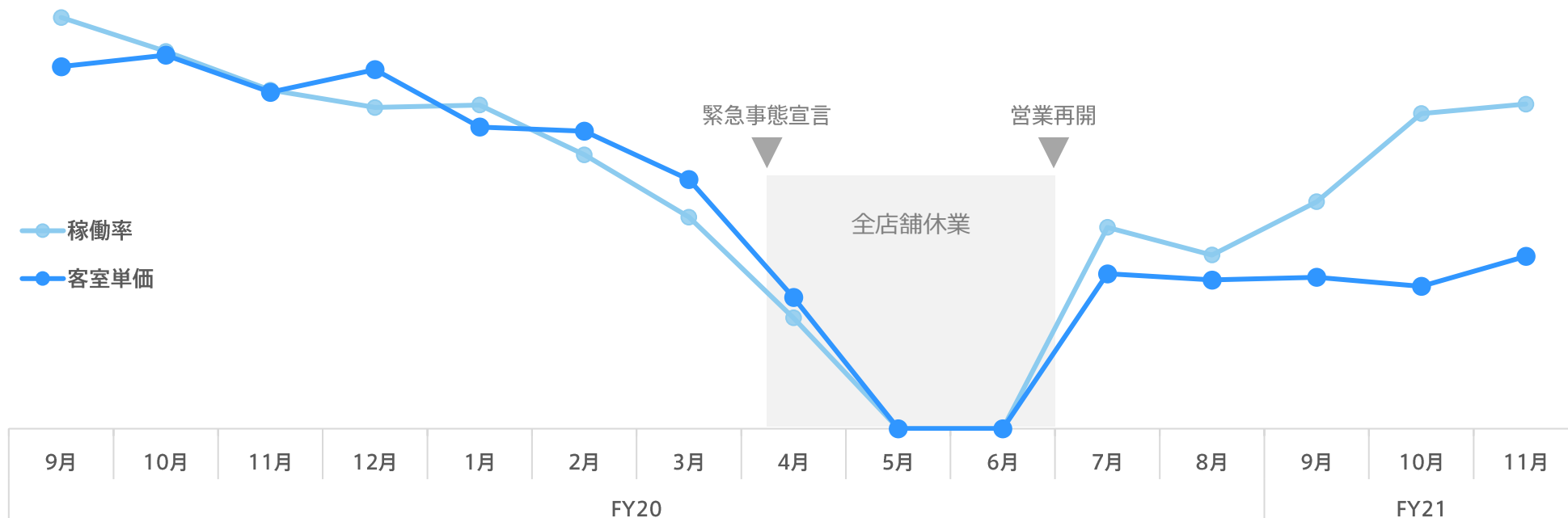
totono

大手2社へ導入済み
（6万4千件へ導入）

& AND HOSTELの稼働状況

- 2020年10月より一部店舗を短期的に休業（東京1店舗、大阪2店舗）
- 足元では東京を中心に稼働率は回復傾向
- 一方、平均単価は2019年末以前と比較すると半額程度に留まっており回復が今後の課題
- 周辺ホテルの単価も下がっており、単価の回復には周辺ホテルとの差別化が必要
- 弊社ではリブランディングによる差別化を遂行中。2021年始に一号案件をリリース

全店舗平均稼働率・客室単価推移（休業店舗除く）



& AND HOSTEL KURAMAEのリブランディング実施

- &AND HOSTEL KURAMAE WESTにおいてリブランディングを実施
- 「ウェルネスを届けるスマートホテル」をコンセプトにリニューアル
- 将来的には全国に展開している&AND HOSTEL全店舗においてリブランディングを予定しており、それぞれの店舗の特徴や地域性に合わせ、独立したリブランディングを行っていく
- 周辺ホテルとの差別化を図り、稼働率を維持しつつも顧客単価の向上を目指す

and factoryが
考えるウェルネス体験

- リラックスできる空間づくり
- 健康的な食事やドリンク
- 洗練されたアートや装飾
- 先進デバイスを活用したユニークな体験

「心と身体」
を軽くする
体験の提供

想定される効果

- ☑ 顧客増加
- ☑ 単価改善
- ☑ スタッフの
モチベーション向上

ミレニアル世代

- 豊かな感受性
- 体験の共有と共感
- ダイバーシティ志向
- ハイブランドよりもユニークさ

& AND HOSTEL KURAMAEのリブランディング実施



& AND HOSTEL

スマートミラーデバイスを活用した 本格的なトレーニング体験

最新のオンラインフィットネスサービス「MIRROR FIT.」
を個室へ導入し体験付きの新たな宿泊プランを提供

心身を整える癒しの空間

パートナー企業と協業し視覚・嗅覚・聴覚・味覚に
アプローチするサービスを開始

ウェルネスフード・ドリンクの提供

フードやドリンクメニューも刷新し提供することで
宿泊以外の付帯収益の増加を図る

ホテルや旅館の客室にあるtabiiだからできる宿泊体験型のPR広告を実施

これまでの戦略

tabiiの広告価値

||

PV

×

UU

||

より多く配信するためには
まず導入台数の増加が必須



これからの戦略



客室にあるtabiiで動画広告を閲覧
(例: マットレス)

認知

動画広告のマットレスを宿泊体験

体験

tabiiで体験をフィードバック

共有

tabiiの外で広がるPR・メディア戦略
の企画・実行

拡大

&。 tabii ADサービス提供開始

- 一号案件として日和ホテル東京銀座EASTに「超安眠ルーム」を設置
- 睡眠コンサルタント監修のもと部屋をアレンジ
- 他社とのタイアップに向けて引き続き取り組みを推進



4. 事業方針及び 2021年8月期業績予想



& 2021年8月期計画

- 2020年8月期は創業以来初の前期比減収となったが、再度売上高は増収を目指す
- 営業損失は縮小するものの、本社移転中止に伴い、移転予定先の賃料を営業外費用として計上しているため当期純損失は-1.8億の計画
- &AND HOSTEL自社開発物件は販売活動を継続しているものの、先行き不透明のため業績予想には織り込まず

単位：百万円	2020年8月期	2021年8月期		
	実績	計画	前年同期比	成長率
売上高	2,946	3,540	+ 594	20%
営業利益 (又は損失)	- 202	- 27	+ 175	—
経常利益 (又は損失)	- 259	- 177	+ 82	—
当期純利益 (又は損失)	- 362	- 182	+ 180	—

5. Appendix



& BS増減比較

(百万円)

	2020年8月期末	2021年8月期1Q末	増減比較 (前期末比)
流動資産	5,661	5,171	-490
現金及び預金	1,028	933	-95
固定資産	681	677	-4
資産合計	6,343	5,848	-495
流動負債	1,858	1,581	-276
固定負債	3,036	2,974	-61
負債合計	4,894	4,555	-338
(有利子負債)	3,812	3,757	-55
資本金	549	549	0
資本剰余金	548	548	0
利益剰余金	351	194	-156
自己株式	0	0	0
純資産合計	1,449	1,292	-156

(百万円)

	2020年8月期1Q	2021年8月期1Q	前年同期比	2021年8月期 予想
売上高	802	718	89.6%	3,540
売上高成長率	71%	-10%	—	20%
Smartphone APP事業	649	625	96.3%	—
IoT事業	123	85	69.1%	—
その他事業	29	7	25.7%	—
営業利益(又は損失)	37	-130	—	-27
営業利益率	5%	—	—	—
経常利益(又は損失)	36	-155	—	-177
経常利益率	5%	—	—	—
四半期(当期)純利益(又は損失)	19	-156	—	-182
四半期(当期)純利益率	2%	—	—	—

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。